

松江圏域医療・介護連携フォーラム 2025 開催要領

1 趣旨

高齢化の進展や人口減少、医療・介護ニーズの多様化、人材不足が進む中、病院間だけでなく、地域全体で支え合う仕組みがより重要となっている。

令和 6 年 12 月 当圏域内の 10 病院²が松江圏域医療機能連携協定¹を締結し、持続可能な医療提供体制の確立を目指している。

標記フォーラムは、その趣旨や背景を踏まえ、今後の地域医療・介護連携のあり方を考える場とする。

2 目的

医療・介護の現場が連携し、本人の意思や希望を尊重した切れ目ない支援体制を考える。

また、現場の具体的な実践や課題、工夫を共有し合うことで、それぞれの現場で役立つヒントを得て、地域包括ケア推進につなげることを目的とする。

3 共催

松江圏域医療機能連携協定 10 病院²、松江市医師会、安来市医師会、松江市、安来市、松江市・島根県共同設置松江保健所（事務局）

4 日時及び会場

日時：令和 7 年 9 月 21 日（日）13:30～16:00

会場：島根県民会館 大会議室

5 対象者

圏域内の病院、診療所、介護施設、訪問看護、居宅介護事業所などに所属する医療・介護従事者、行政職員（医療・保健・介護担当職員）等

※主任介護支援専門員法定外研修

※日本医師会生涯教育制度の生涯学習単位取得（1.5 単位・CC：13）申請中

6 内容など

テーマ「地域の医療・介護連携の今とこれからを考える」＊別紙プログラムのとおり

7 参加費

無料（ただし、参加にかかる旅費等は参加者負担）

8 参加申し込み

(1) 申込方法：しまね電子システム又は電話 FAX メール等により別添にて申し込む

しまね電子システム URL:<https://ttzk.graffer.jp/pref-shimane/smart-apply/apply-procedure-alias/shimane10590476>

(2) 問合せ・申込先：松江市・島根県共同設置松江保健所 医事難病支援課

電話 0852-23-1315 FAX 0852-21-2770

メールアドレス mhc-houkatucare@pref.shimane.lg.jp

9 その他

- ・ 駐車場は、会場付近の有料駐車場をご利用ください。なお、駐車場数が限られておりますので、可能な限り、公共交通機関をご利用いただくようお願いします。

(脚注)

¹ 松江圏域医療機能連携協定は、圏域内 10 病院（松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江医療センター、JCHO 玉造病院、松江記念病院、鹿島病院、東部島根医療福祉センター病院、安来市立病院、安来第一病院）が連携し、地域全体で持続可能な医療体制を確保することを目的として締結された協定である。

² 構成病院は脚注¹のとおり

(別紙)

松江圏域医療・介護連携フォーラム 2025 プログラム

○日時：令和7年9月21日（日）13:30～16:00

○会場：島根県民会館 大会議室

テーマ	地域の医療・介護連携の今とこれからを考える
目的	医療・介護の現場が連携し、本人の意思や希望を尊重した切れ目ない支援体制を考える。 また、現場の具体的な実践や課題、工夫を共有し合うことで、それぞれの現場で役立つヒントを得て、地域包括ケア推進につなげることを目的とする。

始	至	内容	講師等
12:30	13:30	受付	
13:25	13:30	オリエンテーション	
13:30	13:33	開会 あいさつ	
13:33	13:48	1 行政説明 医療・介護の現状	説 明 松江市・島根県共同設置松江保健所 所長 片岡 大輔
13:48	13:55	2 報 告 松江圏域医療機能連携協定について	報告者 松江市立病院 病院長 久留 一郎 氏
13:55	14:05	休憩	
14:05	14:50	3 トークリレー×意見交換 テーマ 「医療・介護連携の取り組みや課題、工夫等から、明日からできるヒントを考える」 (1) 導入（趣旨・発表者紹介） (2) 病院・在宅医療トークリレー テーマ「現場での取り組み・課題・工夫」	【発表者】＊調整中 ・松江赤十字病院 ・JCHO 玉造病院 ・安来市立病院 ・松江市国民健康保険来待診療所 ・訪問看護ステーション友喜
14:50	15:15	(3) 介護トークリレー テーマ「生活支援の課題・工夫」	【発表者】＊調整中 ・松江地域介護支援専門員協会 ・安来地域介護支援専門員協会 ・松江圏域老人福祉施設協議会
15:15	15:20	休憩	
15:20	15:55	(4) 意見交換 テーマ「現場での課題や工夫を全体で共有し、明日からできるヒントを探る」	
15:55	16:00	閉会	